

Work on Life

はたらくために、大切なことを。



のうひろう

脳疲労ってなに？

気づかぬうちに疲れていませんか？

最近、なんだか頭がぼーっとする、集中力が続かない、このような症状に心当たりはありませんか？その症状は、もしかすると、「脳疲労」かもしれません。現代社会には情報が多く、私たちの脳は情報処理のために常にフル稼働しています…。その結果、知らず知らずのうちに脳が疲れ切ってしまうことがあります。そんな時は意識的に脳を休める「脳の休憩時間」をぜひ取り入れてみましょう。

脳疲労の原因とサイン

脳疲労という言葉は、正式な病名ではありません💡

脳の不調や疲れをイメージしやすくするために、「脳疲労」「ブレインフォグ」といった言葉が使われることが増えてきました。

脳疲労状態を放置し一定期間経過すると、うつ状態やうつ病に移行すると考えられているため、「脳疲労」の状態であることに早く気づき、早めの対処を行うことが重要と言われております。

脳が疲れる原因は？

- 複数のことを同時にを行う：脳のエネルギー消費量が増える
- ストレス：ネガティブな感情によって「偏桃体」が過剰に働き、それを抑るために理性をつかさどる前頭葉がエネルギーを多く使う。
- 睡眠：睡眠の質が悪いと脳が疲れたままになる

脳疲労のサインって？



次のような状態が続く場合、脳疲労かもしれません。

- 以前は簡単にこなしていた仕事が進まない
- 帰宅後にぐったりして何もしたくない
- 判断が難しくなり、一度に多くの情報を処理できない
- イライラして周囲にあたってしまう

他にも、寝ても疲れが取れない、眠りが浅い状態が続く、頭痛や肩こり、全身のだるさなど、身体にサインが出ることもあります。

脳の休憩時間を確保しよう

睡眠を見直す

- 決まった時間に寝る・起きる
- 寝る前にスマホやテレビを見ない
- 眠くなったら布団に入る
- 「睡眠の質」を上げることで、脳の疲れをとってあげましょう。



「休む」時間をつくる

忙しくても一息つく時間が大事💡

- スマホを手放すだけでもOK
- 意識して何もしない時間を作ってみましょう



「やること」を整理する

タスクが多いと脳はパンク寸前！
ToDoリストやスケジュールを整理

やることを「見える化」しましょう。



リラックスする習慣を

自分にとって心地よい方法を見つけてみましょう🌿

- ヨガなどの軽い運動
- 深呼吸などで呼吸を意識する
- 好きな音楽を聴く etc.



脳疲労を感じる状態が長期間続く場合、休息や工夫だけでは回復が難しいことがあります。うつ病においては「思うように頭が働かない」「同じことを何度も反芻してしまう」といった症状が現れることがあります。不調が続いている場合は、ご相談ください。

ご相談は
コチラから



Wellness Coordinator
赤坂智美



WITH MIDWIFE

本社：大阪府大阪市都島区東野田町4丁目15番82号 QUINTBRIDGE 303
Email : thecare@withmidwife.jp HP : <https://thecare-biz.jp/>

日本新薬グループ共済会様
LINE 相談 QR コード

